

# 四半期報告書

(第56期第3四半期)

自 平成20年10月1日

至 平成20年12月31日

新光商事株式会社

# 目 次

頁

表 紙

## 第一部 企業情報

### 第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2
3 関係会社の状況	2
4 従業員の状況	2

### 第2 事業の状況

1 仕入、受注及び販売の状況	3
2 経営上の重要な契約等	4
3 財政状態及び経営成績の分析	4

### 第3 設備の状況

### 第4 提出会社の状況

1 株式等の状況	
(1) 株式の総数等	7
(2) 新株予約権等の状況	7
(3) ライツプランの内容	7
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	7
(5) 大株主の状況	7
(6) 議決権の状況	8
2 株価の推移	8
3 役員の状況	8

### 第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	10
(2) 四半期連結損益計算書	12
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	14
2 その他	21

## 第二部 提出会社の保証会社等の情報

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年2月13日
【四半期会計期間】	第56期第3四半期（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）
【会社名】	新光商事株式会社
【英訳名】	Shinko Shoji Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 北井 暁夫
【本店の所在の場所】	東京都品川区大崎一丁目2番2号
【電話番号】	(03) 6361-8111
【事務連絡者氏名】	管理部門統括 取締役 正木 輝
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区大崎一丁目2番2号 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー13階
【電話番号】	(03) 6361-8111
【事務連絡者氏名】	管理部門統括 取締役 正木 輝
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第56期 第3四半期連結 累計期間	第56期 第3四半期連結 会計期間	第55期
会計期間	自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日	自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日	自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日
売上高（百万円）	115,098	26,274	206,307
経常利益（百万円）	2,494	101	7,078
四半期（当期）純利益（△損失） （百万円）	977	△123	4,391
純資産額（百万円）	—	47,271	48,086
総資産額（百万円）	—	77,639	96,544
1株当たり純資産額（円）	—	1,894.85	1,928.98
1株当たり四半期（当期）純利益 （△損失）金額（円）	39.5	△4.98	181.60
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	—	60.4	49.5
営業活動による キャッシュ・フロー（百万円）	△2,763	—	6,598
投資活動による キャッシュ・フロー（百万円）	△375	—	△1,662
財務活動による キャッシュ・フロー（百万円）	△1,432	—	1,600
現金及び現金同等物の四半期末 （期末）残高（百万円）	—	14,835	20,029
従業員数（人）	—	621	614

- （注）1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 第56期第3四半期連結累計期間及び第55期の潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。また、第56期第3四半期連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、かつ、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
3. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

## 2 【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 3 【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4 【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成20年12月31日現在

従業員数（人）	621	(78)
---------	-----	------

(注) 従業員数は就業人員（当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。）であり、嘱託及び臨時従業員数（パートタイマーを含み、人材会社からの派遣社員は除く。）は、当第3四半期連結会計期間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

### (2) 提出会社の状況

平成20年12月31日現在

従業員数（人）	411	(77)
---------	-----	------

(注) 従業員数は就業人員（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む。）であり、嘱託及び臨時従業員数（パートタイマーを含み、人材会社からの派遣社員は除く。）は、当第3四半期会計期間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【仕入、受注及び販売の状況】

#### (1) 商品仕入実績

当第3四半期連結会計期間の商品仕入実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日
電子部品事業（百万円）	22,147
アッセンブリ事業（百万円）	3,342
その他の事業（百万円）	1,359
合計（百万円）	26,849

（注）上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 受注状況

当社グループが営んでいる主な事業内容は電子部品、アッセンブリ製品及び電子機器の販売及びそれに付随する商社活動であり、受注生産活動を行っていないため、受注規模を金額で記載しておりません。

#### (3) 販売実績

当第3四半期連結会計期間の販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日
電子部品事業（百万円）	21,840
アッセンブリ事業（百万円）	2,966
その他の事業（百万円）	1,467
合計（百万円）	26,274

（注）上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

## 3 【財政状態及び経営成績の分析】

### (1) 業績の状況

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国に端を発する金融危機の影響を受けるとともに、急激な円高の進行が重なり急速に悪化してまいりました。

当社グループを取巻く環境につきましては、国内においては、売上高は、携帯電話などの通信分野やプリンターなどのOA分野で減速がさらに加速し、産業分野においては半導体設備関連や工作機械関連、また、堅調に推移しておりました自動車電装分野においても急減速し大幅に減少いたしました。

海外においては、当会計年度より樂法洛（上海）貿易有限公司を連結の範囲に含めたことによる売上高の増加要因はありましたが、全世界同時不況の煽りと急速な円高の影響を受け全ての分野において売上高は大きく減少いたしました。

これらの結果、当社グループの連結売上高は、262億74百万円となりました。これを地域別にみますと、日本が222億10百万円、アジアが36億23百万円、北米が4億40百万円であります。

利益面につきましても、上記売上減少により経常利益は1億1百万円、四半期純損失は投資有価証券評価損2億73百万円の計上等により1億23百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

### 電子部品事業

電子部品事業におきましては、売上高は218億40百万円となりました。

#### ① 集積回路

国内においては、ゲーム機向けLSIは新規採用により増加いたしましたが、堅調に推移しておりました自動車電装用マイコンは第3四半期に入り減少に転じ、携帯電話向けLSIやPC周辺機器向けASICも減少いたしました。また、海外においても樂法洛（上海）貿易有限公司を連結の範囲に含めたことにより自動車電装用マイコンが増加いたしました。急激な円高の影響や世界的な不況の影響により大幅に減少いたしました。

以上の結果、集積回路の売上高は83億93百万円となりました。

#### ② 半導体素子

国内においては、第3四半期に入り自動車電装用半導体が減少に転じ、携帯電話用化合物半導体も減少いたしました。また、海外においても、急激な円高の影響や世界的な不況の影響により全分野で大幅に減少いたしました。

以上の結果、半導体素子の売上高は31億70百万円となりました。

#### ③ 回路部品

国内においては、携帯電話向けノイズ部品が減少し、海外においては、OA分野においてPC周辺機器向けコンデンサーが減少いたしました。

以上の結果、回路部品の売上高は42億33百万円となりました。

#### ④ 電子管

国内において、産業機器向けについては、半導体設備関連や工作機械関連の設備投資抑制による不況の影響を受け減少いたしました。

以上の結果、電子管の売上高は25億11百万円となりました。

#### ⑤ その他電子部品

国内において、携帯電話向け水晶発振子用ハーメチックシールが携帯電話の生産調整により大幅に減少いたしました。

以上の結果、その他電子部品の売上高は35億31百万円となりました。

## アッセンブリ事業

国内においては、半導体設備向けメモリーを中心とした半導体需要の低迷を原因として減少しました。また、海外においては、娯楽機器向け製品が大幅に減少いたしました。

以上の結果、アッセンブリ事業の売上高は29億66百万円となりました。

## その他の事業

### 電子機器

国内において、P C周辺機器向け光ディスクドライブが減少いたしました。

以上の結果、電子機器の売上高は14億67百万円となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 日本

国内においては、ゲーム機器向けL S I等の部品が増加いたしました。また、携帯電話向けやP C周辺機器向けL S Iが減少し、殊に堅調に推移しておりました自動車電装関連向けが減少に転じた結果、売上高は222億10百万円、営業利益は7億9百万円となりました。

#### ② アジア

アジアにおいては、第3四半期に入り急激な円高に加え世界的な不況の煽りを受け全体的に大幅に減少いたしました。また、娯楽機器関連アッセンブリ事業もユニット部品の調整局面により大幅に減少した結果、売上高は36億23百万円、営業利益は1億8百万円となりました。

#### ③ 北米

北米においては、アメリカ国内の金融不安による不況の影響を受け、堅調に推移していた自動車電装関連向けが減少に転じた結果、売上高は4億40百万円、営業利益は10百万円となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における税金等調整前四半期純損失は1億40百万円となり、売上債権の減少及び短期借入金の実行による収入等があったものの、たな卸資産の増加、仕入債務の減少及び短期借入金の返済等があったことにより、現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、第2四半期連結会計期間末に比べ45億74百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末においては148億35百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。  
(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、35億65百万円となりました。これは主に売上債権が63億1百万円減少したものの、たな卸資産28億99百万円の増加、仕入債務60億9百万円減少及び法人税等7億63百万円の納税による支出等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2億1百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得34百万円、無形固定資産の取得1億33百万円の支出等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、18百万円となりました。これは主に短期借入金の実行による収入18億87百万円等があったものの、短期借入金の返済14億10百万円及び配当金4億95百万円の支出等があったことによるものであります。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

## 第4【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### ①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	39,700,000
計	39,700,000

##### ②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成20年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成21年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	24,855,283	24,855,283	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	24,855,283	24,855,283	—	—

#### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成20年10月1日～ 平成20年12月31日	—	24,855,283	—	9,501	—	9,599

#### (5)【大株主の状況】

当第3四半期会計期間において、パークレイズ・グローバル・インベスターズ株式会社及びその共同保有者2名から平成20年12月15日付の大量保有報告書の変更報告書の写しの送付があり、平成20年12月8日現在でそれぞれ以下のとおり株式を保有している旨の報告を受けておりますが、株主名簿の記載内容が確認できないため、当社として実質所有株式数の確認ができません。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (株)	株券等保有割合 (%)
パークレイズ・グローバル・インベスターズ株式会社	東京都渋谷区広尾1丁目1番39号	株式 1,204,700	4.85
パークレイズ・グローバル・インベスターズ、エヌ・エイ (Barclays Global Investors, N.A.)	米国カリフォルニア州 サンフランシスコ市ハ ワード・ストリート400	株式 189,800	0.76
パークレイズ・グローバル・インベスターズ・リミテッド (Barclays Global Investors Ltd)	英国ロンドン市ロイヤ ル・ミント・コート1	株式 183,699	0.74

### (6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成20年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

#### ①【発行済株式】

平成20年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 99,300	—	単元株式数100株
完全議決権株式（その他）	普通株式 24,722,700	247,227	同上
単元未満株式	普通株式 33,283	—	—
発行済株式総数	24,855,283	—	—
総株主の議決権	—	247,227	—

#### ②【自己株式等】

平成20年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
新光商事株式会社	東京都品川区大崎一丁目2番2号	99,300	—	99,300	0.40
計	—	99,300	—	99,300	0.40

(注) 当第3四半期会計期間末日現在の自己株式数は99,883株であります。

### 2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高（円）	1,158	1,193	1,185	1,182	1,109	902	747	738	850
最低（円）	917	995	1,051	1,041	877	711	492	555	571

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

### 3【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はありません。

## 第5【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、公認会計士桜友共同事務所所属、公認会計士大河原恵史氏、公認会計士肥沼栄三郎氏及び公認会計士中市俊也氏による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,835	20,029
受取手形及び売掛金	33,363	49,536
商品	14,710	11,501
未収入金	※3 6,172	※3 6,056
その他	803	863
貸倒引当金	△125	△172
流動資産合計	69,760	87,814
固定資産		
有形固定資産	※1 2,695	※1 2,802
無形固定資産	858	874
投資その他の資産		
投資有価証券	2,044	2,626
その他	2,316	2,463
貸倒引当金	△36	△37
投資その他の資産合計	4,324	5,053
固定資産合計	7,879	8,730
資産合計	77,639	96,544
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,764	39,745
短期借入金	1,987	2,430
未払法人税等	160	1,082
役員賞与引当金	2	45
その他	992	1,643
流動負債合計	26,908	44,946
固定負債		
長期借入金	2,000	2,000
再評価に係る繰延税金負債	343	348
退職給付引当金	957	939
その他	157	223
固定負債合計	3,459	3,511
負債合計	30,367	48,458

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,501	9,501
資本剰余金	9,600	9,600
利益剰余金	28,754	28,701
自己株式	△76	△75
株主資本合計	47,780	47,728
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11	190
繰延ヘッジ損益	△0	—
土地再評価差額金	501	508
為替換算調整勘定	△1,385	△672
評価・換算差額等合計	△872	26
少数株主持分	363	331
純資産合計	47,271	48,086
負債純資産合計	77,639	96,544

(2) 【四半期連結損益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	115,098
売上原価	105,682
売上総利益	9,415
販売費及び一般管理費	※ 7,322
営業利益	2,092
営業外収益	
受取利息	89
受取配当金	40
仕入割引	90
為替差益	221
雑収入	22
営業外収益合計	464
営業外費用	
支払利息	38
雑支出	24
営業外費用合計	62
経常利益	2,494
特別利益	
貸倒引当金戻入額	53
その他	7
特別利益合計	61
特別損失	
投資有価証券評価損	282
その他	68
特別損失合計	350
税金等調整前四半期純利益	2,205
法人税等	1,192
少数株主利益	35
四半期純利益	977

## 【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	
売上高	26,274
売上原価	24,180
売上総利益	2,094
販売費及び一般管理費	※ 2,221
営業損失(△)	△126
営業外収益	
受取利息	23
受取配当金	13
仕入割引	7
為替差益	201
雑収入	5
営業外収益合計	250
営業外費用	
支払利息	11
雑支出	10
営業外費用合計	22
経常利益	101
特別利益	
貸倒引当金戻入額	31
特別利益合計	31
特別損失	
投資有価証券評価損	273
その他	0
特別損失合計	273
税金等調整前四半期純損失(△)	△140
法人税等	15
少数株主損失(△)	△32
四半期純損失(△)	△123

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,205
減価償却費	309
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	18
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△47
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△42
受取利息及び受取配当金	△129
支払利息	38
有形固定資産除売却損益 (△は益)	28
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1
投資有価証券評価損益 (△は益)	282
売上債権の増減額 (△は増加)	16,401
未収入金の増減額 (△は増加)	88
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,140
仕入債務の増減額 (△は減少)	△16,255
未払又は未収消費税等の増減額	△259
その他の資産・負債の増減額	△653
その他	28
小計	△1,130
利息及び配当金の受取額	128
利息の支払額	△35
法人税等の支払額	△1,726
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,763
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△9
投資有価証券の売却による収入	9
有形固定資産の取得による支出	△71
有形固定資産の売却による収入	11
無形固定資産の取得による支出	△271
貸付けによる支出	△0
貸付金の回収による収入	2
その他の支出	△57
その他の収入	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△375
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	4,797
短期借入金の返済による支出	△5,240
自己株式の取得による支出	△1
自己株式の売却による収入	0
配当金の支払額	△988
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,432
現金及び現金同等物に係る換算差額	△688
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,259
現金及び現金同等物の期首残高	20,029
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	65
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 14,835

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	<p>当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)</p>
1. 連結の範囲に関する事項の変更	<p>(1) 連結の範囲の変更 第1四半期連結会計期間より、樂法洛(上海)貿易有限公司は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。</p> <p>(2) 変更後の連結子会社の数 10社</p>
2. 会計処理基準に関する事項の変更	<p>(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更 たな卸資産 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による低価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。 この変更に伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。 なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。</p> <p>(2) 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用 第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。 この変更に伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。 なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。</p>

【簡便な会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
1. 固定資産の減価償却費の算定方法	定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。
2. 棚卸資産の評価方法	当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、当第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
税金費用の計算	税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)								
<p>※1 有形固定資産の減価償却累計額は、1,285百万円であります。</p> <p>2 保証債務 当社の従業員の金融機関からの住宅取得借入れに対し債務保証を行っております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">従業員</td> <td style="text-align: right;">48百万円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">48百万円</td> </tr> </table> <p>※3 未収入金 ファクタリング方式により譲渡した売上債権の未収額5,781百万円が含まれております。</p> <p>4 受取手形裏書譲渡高は、16百万円であります。</p> <p>5 遡及義務を伴うファクタリングによる売上債権の売却残高は686百万円であります。</p>	従業員	48百万円	計	48百万円	<p>※1 有形固定資産の減価償却累計額は、1,315百万円であります。</p> <p>2 保証債務 当社の従業員の金融機関からの住宅取得借入れに対し債務保証を行っております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">従業員</td> <td style="text-align: right;">63百万円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">63百万円</td> </tr> </table> <p>※3 未収入金 ファクタリング方式により譲渡した売上債権の未収額5,342百万円が含まれております。</p> <p>4 受取手形裏書譲渡高は、21百万円であります。</p>	従業員	63百万円	計	63百万円
従業員	48百万円								
計	48百万円								
従業員	63百万円								
計	63百万円								

## (四半期連結損益計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は 次のとおりであります。	
給与及び賞与	3,244百万円
貸倒引当金繰入額	19

当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	
※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は 次のとおりであります。	
給与及び賞与	977百万円
貸倒引当金繰入額	0

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸 借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年12月31日現在) (百万円)	
現金及び預金勘定	14,835
現金及び現金同等物	14,835

## (株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

- 発行済株式の種類及び総数  
普通株式 24,855千株
- 自己株式の種類及び株式数  
普通株式 99千株
- 新株予約権等に関する事項  
該当事項はありません。
- 配当に関する事項  
配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年6月4日 取締役会	普通株式	495	20	平成20年3月31日	平成20年6月6日	利益剰余金
平成20年10月30日 取締役会	普通株式	495	20	平成20年9月30日	平成20年11月18日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

	電子部品事業 (百万円)	アッセンブリ 事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	21,840	2,966	1,467	26,274	—	26,274
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	21,840	2,966	1,467	26,274	—	26,274
営業利益(△損失)	346	55	40	442	△569	△126

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	電子部品事業 (百万円)	アッセンブリ 事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	79,370	30,271	5,456	115,098	—	115,098
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	79,370	30,271	5,456	115,098	—	115,098
営業利益	2,947	827	222	3,998	△1,905	2,092

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、内部管理上の分類によって区分しております。

2. 各区分に属する主要な商品

事業区分	主要商品
電子部品事業	集積回路、半導体素子、回路部品及び電子管
アッセンブリ事業	アッセンブリ製品
その他の事業	情報機器及び産業機器

3. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」2.(1)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。

なお、これによるセグメント情報に与える影響は軽微であります。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」2.(2)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しております。

なお、これによるセグメント情報に与える影響は軽微であります。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	22,210	3,623	440	26,274	—	26,274
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,449	1,699	—	3,148	△3,148	—
計	23,660	5,323	440	29,423	△3,148	26,274
営業利益（△損失）	709	108	10	828	△955	△126

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	95,398	18,225	1,474	115,098	—	115,098
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,633	2,653	2	7,290	△7,290	—
計	100,032	20,879	1,477	122,389	△7,290	115,098
営業利益	4,049	316	32	4,398	△2,305	2,092

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア…大韓民国、香港、中華人民共和国、台湾、シンガポール、マレーシア、インドネシア、タイ

(2) 北米…アメリカ合衆国

3. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」2. (1) に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。

なお、これによるセグメント情報に与える影響は軽微であります。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」2. (2) に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。

なお、これによるセグメント情報に与える影響は軽微であります。

【海外売上高】

当第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	4,212	457	4,670
II 連結売上高（百万円）	—	—	26,274
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	16.0	1.7	17.8

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	20,732	1,562	22,294
II 連結売上高（百万円）	—	—	115,098
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	18.0	1.4	19.4

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア……………大韓民国、香港、中華人民共和国、台湾、シンガポール、マレーシア、インドネシア、タイ

(2) その他の地域……アメリカ合衆国、イスラエル、オーストラリア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(有価証券関係)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
1株当たり純資産額 1,894.85円	1株当たり純資産額 1,928.98円

2. 1株当たり四半期純利益(△損失)金額等

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 39.50円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純損失金額 △4.98円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益(△損失)金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
四半期純利益(△損失)(百万円)	977	△123
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(△損失) (百万円)	977	△123
期中平均株式数(千株)	24,756	24,755

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

該当事項はありません。

2【その他】

① 平成20年10月30日開催の取締役会において、平成20年9月30日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載または記録された株主に対し、剰余金の配当として、1株につき20円(総額495百円)を支払うことを決議いたしました。

② その他の該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年2月10日

新光商事株式会社

取締役会 御中

公認会計士桜友共同事務所

公認会計士 大河原 恵史 印

公認会計士 肥沼 栄三郎 印

公認会計士 中市 俊也 印

私たちは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている新光商事株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、私たちの責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

私たちが実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、新光商事株式会社及び連結子会社の平成20年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。